丹波篠山で映像づくり！

あなたの目線で、あなたの言葉で、あなたの物語を映像に―

田んぼでの稲刈り、学校帰りの子どもたちの「帰りました」と地域の人々の「おかえり」、秋の山に響く祭りばやし…当たり前の風景に見えますが、その一つひとつは誰かにとっての宝物です。

そんな美しい風景や営みが、丹波篠山にはたくさんあります。それらは全て、未来に届けたい「いま」。語り継ぎたい風景や暮らしを、映像を通して未来へつないでみませんか？

問い合わせ　視聴覚ライブラリー☎590-1301

今年の丹波篠山映像大賞テーマは「いまを未来へつなぐ」

今年で第37回を迎える丹波篠山映像大賞のテーマに込めた思いは「大切なものは、つなぎたい」。

今年も全国から作品を募集します。アマチュアであれば、どなたでも応募可能です。昨年同様「Enjoy丹波篠山♪ショートムービーアワード」もあり、映像制作初心者の方でもスマートフォンなどで撮影した作品を気軽に応募できます。

あなたが未来に届けたい「いま」を映像にして、ぜひご応募ください。

昨年の丹波篠山映像大賞

募集期間	8月1日(金)～11月30日(日)【必着】
作品タイム	7分以内
大賞賞金	10万円
応募方法	①応募用紙(ホームページ掲載)とメディアを郵送、または持参 ②ホームページから

Enjoy丹波篠山♪ショートムービーアワード

募集期間　8月1日(金)～11月30日(日)　応募方法　右記二次元コードから

作品タイム　30秒～1分以内　※市内で撮影された映像に限ります。

丹波篠山映像大賞で過去4回大賞受賞
阪下千代美(さかしたちよみ)さん

映像制作は人生を豊かにするもの

映像に残すことは、自分の生きた証しを残すこと。いろんなところへ撮影に行き、多くの人と出会えたことは、人生において財産となりました。また、映像制作という楽しみがあることで、辛いときも乗り越えることができました。

今年はこれまでの集大成として、丹波篠山映像大賞に作品を応募できるように撮影と編集を頑張ります。皆さんもぜひ、自分の生活を見回して映像に残してください。ごく自然なもので、力を抜いて、まずは気軽に楽しみながらビデオを回してみましょう。きっと自分の大切なものに気付けます。

阪下さん初の大賞作品「えがおで元気」

映像大賞に応募しようか悩んでいるあなた！

視聴覚ライブラリーを活用ください

視聴覚ライブラリーでは、自分で撮影した映像の編集、ナレーションの録音などができます。パソコンで編集ソフトを使用し、どなたでもBGMや文字を入れた編集作業ができます。ぜひ、お気に入りの作品づくりを体験してください。

また、中央図書館ではビデオカメラを無料で貸し出しています。担当職員が丁寧にアドバイスしますので、事前に予約して、お気軽にご利用ください。

★ iwata_style とコラボ★

映像づくりワークショップ

Enjoy丹波篠山♪
ショートムービーアワードへの応募をめざして、一緒に楽しみましょう！

申し込み

	初級①	初級②	中級
日　程	8月31日(日)	9月7日(日)	10月5日(日)
時　間	13:00～16:00		
場　所	丹波篠山市民センター	中央図書館	丹波篠山市民センター
講　師	岩田瑞希(いわたみずき)さん（iwata_style、丹波篠山映像祭実行委員会実行委員長）		
内　容	動画撮影のポイントから編集、作品に仕上げるまでの流れを学びます/当日実際に撮影してから、撮影した動画をスマートフォンアプリで編集します		事前にテーマに基づいて映像を撮影し、ワークショップで編集して作品に仕上げます
持ち物	スマートフォン		
定　員	各6人(応募者多数の場合は抽選)		
申込期限	8月17日(日)		

ささやまビデオサークル
レインボー 代表
岩﨑裕見子(いわさきゆみこ)さん

一緒に映像の世界を楽しみませんか？

「まるいのTV」の収録で人手が足りないからと誘われて、いつの間にかレインボーに入会していました。メンバーは優しくていい人たちばかりです。和気あいあいとしていて、楽しく撮影することができます。現在は3、4人で撮影しており、「まるいのTV」の配信スタッフとしての活動や勉強会の開催など、みんなで力を合わせて頑張っています。

一緒にやりたいと思われる方はぜひ、入会をお願いします！カメラを持っていなくても大丈夫。お気軽にお問い合わせください。

丹波篠山で新たなビジネスを創出

篠山イノベーターズスクール 卒業生の活動を紹介します

JR篠山口駅構内にある神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボで開催されている篠山イノベーターズスクール。ここでは、市内でビジネスを始めたい方や移住したい方を呼び込み、知識、ノウハウ、ネットワークの提供を通して、起業や移住の支援を行っています。

今回は、スクール卒業後に市内で活躍されている2人の方を紹介します。

問い合わせ 篠山イノベーターズスクール事務局（一般社団法人丹波篠山キャピタル）☎506-6628／創造都市課☎552-5106

農村の未来を創るスクール

篠山イノベーターズスクールは、農村で夢や仲間や資源をみつけ、つなげ、しごととして、カタチにすることを支援するために、開講された起業・継業スクールです。

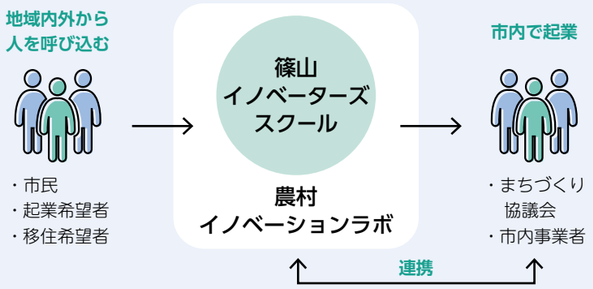
農村での起業・継業には、経営スキルだけでなく、地域社会と確かな関係性を構築していくことも求められます。スクールでは、実現したいしごとをカタチにするためのセオリー（理論）とノウハウ（技術）とネットワーク（仲間）を、地域全体の「ビジネスエコシステム」をとおして提供していきます。

スクール生はカリキュラムにより、起業のセオリーやノウハウを学びながら、1年間でビジネスアイデアを作り上げ、起業・しごとづくりに結び付けていきます。

今年も5月17日に開講式を行い、スクール第11期がスタートし、31人の受講生が入学しました。スクールには、20歳代から60歳代までの幅広い年代の方々が受講。市内だけでなく京阪神間や岡山県などの遠方からも参加されています。

これまで、268人が受講するなか、58人が起業・継業を行い、27人が事業を創出しています。また、スクールを契機に49人が市内に移住しています。

篠山イノベーターズスクールの役割



「篠山イノベーターズスクールの様子をのぞいてみたい！」という方は、ぜひ公式インスタグラムをフォローください。
見学・相談も受け付けています。

問い合わせ 篠山イノベーターズスクール事務局（一般社団法人丹波篠山キャピタル）
☎506-6628、Mail：school@tscapital.jp

篠山イノベーターズスクール チーフコーディネーター 岡安（おかやす） 陽子（ようこ）さん

10期生 辻宙夢（つじひろむ）さん【不来坂】

空き家を活用し 丹波篠山の魅力を全国に発信

使用されていない空き家を改修し、移住者に提供しようと取り組まれている辻宙夢さん。人脈を広げるためにと、篠山イノベーターズスクールを受講されました。「操業しようというタイミングでしたので、丹波篠山で起業しようとされている方と交流できたことはとても刺激になりました」と話されます。

ゆくゆくは不動産業を立ち上げようと取り組まれ、自らも空き家を改修してみようと、昨年9月に活動拠点となる古民家を購入。現在、改修作業に取り組まれ、その様子はYouTube動画で配信し、多くの方の注目を集めています。

「今後は、多くの物件を改修し、SNSで住む方の募集を行いながら、丹波篠山の魅力発信もできればと思っています。移住者にただ家を貸すのではなく、都会にはないその土地ならではの独自ルールや、付き合い方などの説明を行う、移住支援にも取り組んでいきたい」と力強く話されました。

Interview

スクールを卒業され、
市内で活躍されている
卒業生を紹介します

農園のおいしいものを皆さんに届けたい

篠山イノベーターズスクールへの入学と同時に「丹波篠山ここいろ農園」を立ち上げられた山本大智さん。「自分に合う農業を探したい、一緒にやってくれる仲間を作りたいとの思いから」受講されました。現在も受講生とのつながりは続き、農園にはスクール生が手伝いに来られるそうです。

山本さんが行う農業は「現在、技術向上のために大規模化できないので、少量生産でも認知を広げられる農業を模索中。その一環として、農業体験をベースに直接農場に来て買ってもらえる工夫をしています」と話されます。今年は、玉ねぎや、とうもろこしの収獲体験、ミニトマトすくいなどを行われるほか、ジューススタンド（※1）を設置。クラフトコーラや野菜ジュースなどを販売されます。

今後も、「ここいろ農園の名前のとおり、この農場でいろいろなことに取り組み、おいしいものを皆さんに届けていきたいです」と、その思いを話されました。

8期生 山本大智（やまもとだいち）さん【川北新田】

（※1）その場でジュースを作り販売するお店